

第 92 回 ここからカフェ九品仏

車いすがつなく希望 ～日本からナイジェリアへ～

日本とナイジェリアを繋ぐ希望のプロジェクトに向けたお話を伺います。

日時：2026年5月23日(土)
13:30～15:30

講師：櫛田美知子さん

会場：九品仏複合施設 2 階
世田谷区奥沢 7-35-4

参加費：300 円 ※要予約

申込・問合せ：090-3961-8514
(ここからカフェ九品仏 湯澤)

第 120 回 お隣さまお茶会

みなみさんのベリーダンス

講師：Minami さん

いつもと場所、時間が違います。
お間違いのないようお願いいたします。

日時：2026年5月11日(月)
14:00～16:00

会場：チャームプレミア田園調布
世田谷区玉川田園調布 1-9-10

参加費：500 円 ※要予約

申込・問合せ 03-3721-8699
玉川まちづくりハウス

第 64 回 玉田シニアサロン

『ミーティング・ザ・ビートルズ・イン・インド』
上映会 グループ瞑想とお話付き

講師：鈴木志津夫
(マハリシ総合教育研究所代表理事)

日時：2026年5月10日(日)
14:00～16:30

会場：玉川田園調布会館

参加費：500 円

問合せ：03-3721-8699

玉川まちづくりハウス

ハウスの会員数

特別正会員 5 名
正会員 25 名
ニュース会員 42 名

5 月号にかかわったひと

伊藤雅春 染野和夫
高橋阿貴 小西玲子
柴田希美絵 池田麻未
昆野敬子

4

ハウススケジュール&フレイバック

予定・詳細は HP <https://tamamati.com/> にて
ご確認ください

- 5 日(日) 玉田シニアサロン / 玉川田園調布会館
- 9 日(木) 住宅まちづくり総合相談 / 玉川総合支所
- 10 日(金) 玉川まちづくりハウス定例運営委員会 / スペースえんがわ inn
- 13 日(月) お隣さまお茶会 / スペースえんがわ inn
住宅まちづくり総合相談 / 世田谷総合支所
- 17 日(金) 宮本三郎記念美術館+アートフェスタ会議
/ スペースえんがわ inn
- 19 日(日) タマデンマルシェ / アビターレ前 (玉田 1-13-1)
- 21 日(火) プレーリヤカーでの公園遊び / ねこじゃらし公園
- 23 日(木) 住宅まちづくり総合相談 / 玉川総合支所
「せたがや防災 NPO アクション事務局会議
/ たまでんカフェ山下+オンライン
- 25 日(土) ここからカフェ九品仏 / 九品仏複合施設 2 階



ベリーダンスは体幹を鍛え、
姿勢改善、肩こり腰痛の解
消に最適なんだそうです。
5 月 11 日のお隣さまお茶会
が楽しみです。

5

ハウスカレンダー

- 8 日(金) 玉川まちづくりハウス定例運営委員会
9:30～11:00 スペースえんがわ inn
- 9 日(土) 宮本三郎記念美術館+アートフェスタ mtg
13:30～未定 宮本三郎記念美術館講座室
- 10 日(日) 玉田シニアサロン
14:00～16:00 玉川田園調布会館
- 11 日(月) お隣さまお茶会
13:30～15:30 スペースえんがわ inn
住宅まちづくり総合相談
13:30～15:30 世田谷総合支所
- 14 日(木) 住宅まちづくり総合相談
13:30～15:30 玉川総合支所
- 17 日(日) せたがや居場所サミット
11:00～16:00 三軒茶屋キャロットタワー 4 階
- 19 日(火) プレーリヤカーでの公園遊び
10:00～12:30 ねこじゃらし公園
- 24 日(日) タマデンマルシェ
11:00～15:00 アビターレ前 (玉田 1-13-1)
- 26 日(火) プレーリヤカーでの公園遊び
10:00～12:30 ねこじゃらし公園
- 28 日(木) 住宅まちづくり総合相談
13:30～15:30 玉川総合支所

玉川まちづくりハウスニュース

みんなでホイッ!

5
2026

発行 特定非営利活動法人玉川まちづくりハウス

〒158-0085

東京都世田谷区玉川田園調布 2-11-10 Email house@tamamati.com
tel.03-3721-8699 fax.03-3721-8986 URL <https://tamamati.com>

玉川まちづくりハウスは、住民主体のまちづくりをお手伝いする特定非営利活動法人(NPO法人)です。

玉川まちづくりハウスから

街角保健室 2025 記録できました

玉川まちづくりハウスが 2025 年度取り組んできた、
街角保健室プロジェクトのまとめの冊子が完成しました。

たびたび、このニュースでもお知らせしてきました
が、2023 年度、独立行政法人福祉医療機構(WAM)の
助成を受けて始めたこの街角保健室プロジェクト。今
回 2025 年度は「世田谷地域の絆連携活性化補助金」
を受け、実施しました。

九品仏にある福祉的な活動をしている多くの団体が、
もっと知り合ってネットワークをむすび、「ケアする地
域」「ケアするコミュニティ」を作り上げていけたら、
という目的で始めましたが、1 年を終え、方向性に共
感してくださる方は大勢いらして、勇気づけられました。

昨年 10 月の「つな
がる街角祭り」、今年
3 月の「街角カフェ」
の様子などを掲載し
ています。ご興味
のある方は玉川まち
づくりハウスまでご連
絡ください

今後、どう進めて
いくか検討していま
す。



第 7 回 せたがや居場所サミット開催

5 月 17 日(日)11 時～16 時
三軒茶屋キャロットタワー 4 階

「ケアする社会は居場所から」「居場所は誰でもつくれるよ～」が表題のせた
がや居場所サミット。

「数はたくさんあるのに、これまでつながりが少なかった世田谷区にある「子
ども、若者、障害者、高齢者」、さらには「外国人」「貧困者」「中年の無職者」…。
さまざまな「居場所」をネットワークし「ケアする社会」を実現していこうと、
2018 年 2 月に始まった「せたがや居場所サミット」。玉川まちづくりハウスは
昨年に引き続き 3 回目の参加になります。50 以上の団体と一堂に会する機会
は得難い体験です。

ご一緒に出かけてくださる方募集中です。



4月19日(日) タマデマルシェ開催

毎月原則第3日曜日 11時～15時、元気に開催しています。

4月19日(日)は陽ざしが暑いぐらいの好天に恵まれすぎて、遠出なさる方が多かったようですが、それでも、三々五々訪れる方々とゆったり過ごすことが出来ました。この日マルシェに美味しいキッシュやレモネードで、スタッフの疲れを癒してくれていたカフェ「ミンナトリエ」さんが最後の出店となり、残念でなりませんでしたが、興味をもってスタッフとして名乗り出てくださった若い方もいて、マルシェは人が出合い、行きかう場だなあと感じています。



会場の建物アビターレ玉川田園調布地下では(一社)住宅遺産トラストによる、押垂(おしだれ)勝久氏の椅子&書籍コレクションの展示もありました。「自由にお座りいただき、押垂さんのお話を聞きながら、椅子と本たちの活かし方について、みなさんと考えていきたい。」という主旨で、これからもマルシェの時間に合わせ少しずつ展示なさるそうです。「座れる展示」は数少ない機会です。是非お出かけください。



玉川まちづくりハウス交流会 開催します!

よく、玉川まちづくりハウスって何をしているの?

という質問が寄せられます。

斯く言うメンバーも「まちづくりって何かしら」と自問自答しながらの活動です。

若い方たちの発案で交流会を開催することになりました。

世田谷区「ボランティアビンゴ」はじめあちこちで頼りにされている赤堀仁紀さんも登場します。

まちづくりって何か?を巡って楽しいおしゃべりの会になると思います。お出かけください!

第1回 NPO法人玉川まちづくりハウス交流会

日時 2026年5月6日(水) 15時～18時
場所 まちづくりハウス(ネクストハウス)
158-0085 東京都世田谷区玉川田園調布2-11-10
参加費 まちづくりハウス会員の方: 無料
まちづくりハウス会員以外の方: 500円

タイムライン
15:00～15:30 チェックイン、自己紹介
15:30～16:00 まちづくりハウスの活動紹介・質疑応答(小西さん)
16:00～16:30 ゲストトーク ボランティア活動について(赤堀さん)
16:30～18:00 交流会

5/6(水) 15時～開催!
お申込みはこちら!



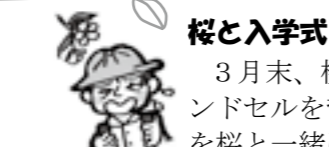
暮らしのつばやき 2026年5月



バベルの塔

よく見ているSNSの【X】に、自動翻訳機能が搭載されました。自分の見ているタイムラインに、英語や韓国語やスペイン語、その他色々な言葉で書かれた吹きが、日本語に自動翻訳されて流れてきます。肉の焼き方、アイドルについて、リモートワークの対応、日本語で見ると同じような話も、違う文化の話題もすべてが混然一体となっている様は圧巻で、また一つ大きく時代が変わっていくのだなと感じます。

玉川まちづくりハウスニュース



桜と入学式

3月末、桜が満開だったころ、新しいランドセルを背負った新1年生の我が子の姿を桜と一緒に撮りたい、と多くの親御さんたちが撮影していました。そんな中、新しくパリッとした礼服と靴が疲れてしまったのか、「今すぐ帰りたい!」と地団駄を踏んでいる男の子と、笑顔の写真を撮りたいお父さんが押し問答しているのを見かけました。お母さんが家で待っているようでしたが、満面の笑顔はなかなかムズカシイかもしれない...と思った春の日でした。

2

地域 GAYAGAYA

地域の動きや、話題を地域の方々に手伝っていただて紹介していくコーナーです。



地域の歴史を辿る
その40

第40回 「東急電鉄の歴史」その④

奥沢地誌保存会・染野和夫

大正9年(1920年)5月、武蔵電気鉄道(株)の常務取締役に就任していた五島慶太氏は、阪神急行電鉄(株)の小林一三氏からの声掛けに寄り、大正11年(1922年)9月に田園都市(株)の鉄道部門から分離独立し設立された目黒蒲田電鉄(株)の取締役に就任、翌月の10月には武蔵電気鉄道の常務を務めながら目黒蒲田電鉄の専務取締役に就任します。こうして五島慶太氏が両社の経営を実質的に担うことになり、東京西南部の鉄道路線整備が進展していくこととなります。

目黒蒲田電鉄では大正12年(1923年)3月に目黒～丸子間が目黒線として開通、更に同年11月に丸子～蒲田間の蒲田線を開通、全線13.2kmの目蒲線が全通します。

同年9月に関東大震災が発生、壊滅的な被害にあった東京市内の居住者は郊外へと住居を求めます。そして震災の被害が軽微であった目黒蒲田電鉄の沿線への移住者は激増し、田園都市会社と目黒蒲田電鉄の業績は向上します。又、翌大正13年1月、震災で被災した蔵前の東京高等工業学校(現・東京科学大学)の敷地と、田園都市会社の大岡山の社有地とを交換、この蔵前の土地を後日、復興局が買収することになり売却益を得ます。そこで、五島慶太氏は資金難のため認可路線の建設に着手できずにいた武蔵電気鉄道の株式を買収し、大正13年(1924年)10月、武蔵電気鉄道の商号を東京横浜電鉄(株)と変更、専務取締役に就任します。



武蔵電気鉄道時代の五島慶太氏



東京横浜電鉄社章

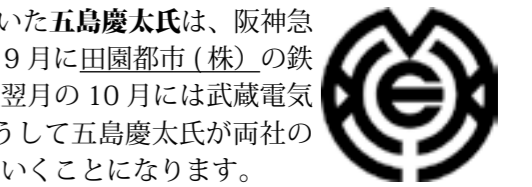
大井町線の開通順序
①大井町～大岡山 昭2.7.6 開通
②自由が丘～二子玉川 昭4.11.1 開通
③大岡山～自由が丘 昭4.12.25 開通



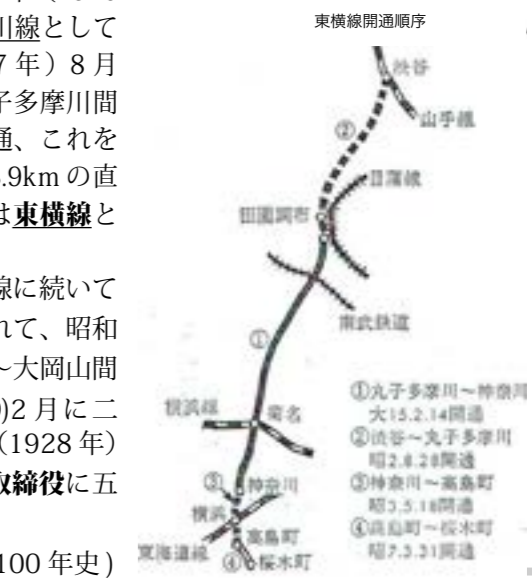
こうして東京横浜電鉄の実権を握った五島氏は、東京～横浜間の路線の丸子多摩川～神奈川間を第一期として建設を進め、大正15年(1926年)2月14.7kmを神奈川線として開通、翌昭和2年(1927年)8月に第二期となる渋谷～丸子多摩川間9.1kmを渋谷線として開通、これをもって渋谷～神奈川間23.9kmの直通運転が開始となり路線は東横線と呼ばれます。

目黒蒲田電鉄でも目蒲線に続いて大井町線の建設が着工されて、昭和2年(1927)7月、大井町～大岡山間が開通、昭和4年(1929)2月に二子玉川～大岡山間も開通、大井町線が全通しています。そして昭和3年(1928年)5月、目黒蒲田電鉄は田園都市会社を合併、資本金1,750万円、代表取締役に五島慶太氏が就任します。

(以降は次月号に続く。)(参考文献:東急100年史)



目黒蒲田電鉄社章



シロツメクサの花冠

子供のころ、シロツメクサの花で花冠を作るのを何回も試みたことがあります。東ねるところはできても、結局円環にするための方法がよくわからなかったのと、途中で時間切れになる事ばかりで、最後まで円にできたことはありませんでした。つい先日、河原でたくさん咲いているのをみつけて、今ならできるかもとチャレンジし、まるく花冠を完成させることができました。子供のころの夢の一つ叶った朝でした。

グミ

芸人さんが沢山の種類のグミを食べる動画を見て、自分でも食べたくなり、久しぶりにグミを買いました。いつの間にかコンビニでは飴やガムよりグミの売り場がとても大きくなっていて、時代の変化を感じました。フルーツ味だったり、触感に工夫があったり、有名人とコラボしていたり、凄く色だつたり...、アレンジが豊富なのが流行る理由でしょうか。(貴)

3

玉川まちづくりハウスニュース